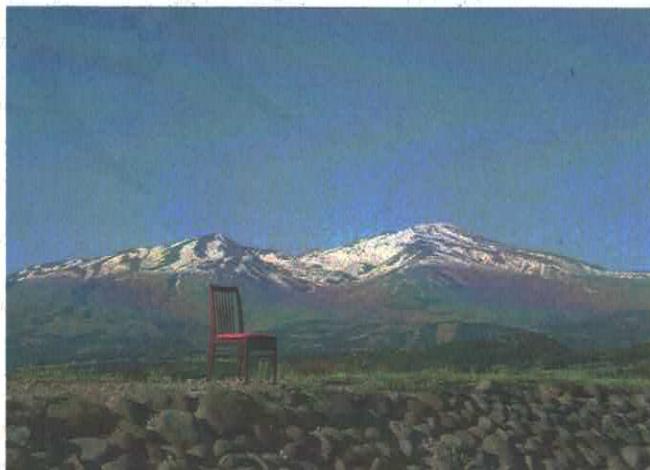


何でもランキン

6 おくりびと

(山形県酒田市) チェロ演奏シーンに魅了



<289>納棺師となった男性を主人公に、生と死、家族の絆などを描いた作品。「山形県遊佐町にある月光川の土手=写真=で撮影された、主人公がチェロを弾く場面。雪が残る鳥海山の風景を背中に、流れるようなカメラワークで見せる演奏シーンの美しさは映画史に残る名場面」と松崎さんは太鼓判を押す。第81回米アカデミー賞外国語映画賞を受賞したが、蔦屋書店の吉川明利さんは「外国の方も、チェロを弾く土手の風景に魅了されたと思う」と評する。

「酒田の街並みが印象的で、10年以上前の映画でもシーンがよみがえってくるようだ」(山口県の60代男性)

①2008年②滝田洋二郎③本木雅弘

ロケ支援団体 誘致の契機に

映画のロケでは、撮影の誘致や施設への申請・交渉などをする公的団体「フィルムコミッション(F C)」が大きな役割を果たす。日本では2000年以降、全国各地でF Cの整備が進められた。

例えば「ドライブ・マイ・カー」のロケには広島F Cが全面協力した。同作は当初、韓国・釜山でロケをする予定だったがコロナ禍で断念。広島F Cの西崎智子さんが自身もお気に入りだという広島市環境局中工場に濱口監督を案内したことが、ロケ誘致の一つのきっかけとなった。近代的なゴミ処理場である中工場は映画の中でも印象的に使われており、西崎さんが濱口監督に話した施設の説明もせりふに盛り込まれた。

ただ、映画に出ただけで地域活性化につながるとは限らない。ロケ地の訪問者がまた来なくなるような地元との交流があったり、自然とお金を使いたくなるような機会があったりするとよい。

ロケ地の施設・店などは季節や曜日により休業している場合がある。訪れる際は事前にホームページなどで確認したい。

9 スwingガールズ

(山形県米沢市) 地域一丸でロケ地盛り上げ



10 阿弥陀堂だより

(長野県飯山市) 山里の景観楽しむ



／100へ戻れり住むが主婦の生活を四季折々の風